

武豊町地域公共交通会議 第13回 会議 議事録

日時：平成25年9月26日（木）

10：00～12：15

場所：武豊町役場第2・3・4会議室

1. 会長あいさつ

○事務局

- ・ 只今から「武豊町地域公共交通会議」の第13回会議を開催させていただきます。
- ・ 会議資料の次第に従いまして、はじめに、開会にあたりまして、会長であります、町長の初山からごあいさつさせていただきます。

○初山町長（武豊町長）

- ・ おはようございます。ご多忙の中、第13回交通会議にご参加いただき、ありがとうございます。
- ・ 本日の予定ですが、新しい3人の委員について委嘱させていただきます。また、議事については、報告事項2点、協議事項3点を予定しています。主な議事としては、町民アンケート調査等についてご議論いただく予定です。ご意見を頂戴したいと思います。
- ・ また、コミュニティバスの利用状況ですが、平成24年3月に5万人を達成しました。まもなく10万人を達成する見込みです。1日の利用が100名を超える時もあります。その中には、自動車免許の自主返納された方の利用も見られます。
- ・ 安全に、また、気軽に利用できるように、地域に根付きつつある資源でもあります。今年度はこれまでの取組を振り返り、新たなステージを目指して検討を進めたいと考えています。
- ・ 最後に、前回の会議でもご報告しましたが、運行事業者についてはプロポーザルにより、10月1日から知多乗合(株)に変更しました。
- ・ 本日は、円滑なご審議にご協力いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

2. 新しい委員の委嘱等について

○事務局

- ・ 新しい委員の委嘱等について、武豊町地域公共交通会議委員名簿をご覧ください。
- ・ 11番目知多乗合(株)取締役社長の勝田様に交代。
- ・ 12番目名鉄知多タクシー(株)代表取締役社長の藤田様に交代。
- ・ 14番目公益社団法人愛知県バス協会専務理事の古田様に交代しました。
- ・ 委嘱状の交付をさせていただきます。
- ・ 本日は4人の代理による出席、委任状の提出、委員の欠席者がありますが、過半数を超える出席があり、規約に定める開催要件を満たしております。
- ・ この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせ

せしますので、よろしくお願いいたします。

- ・ 伊豆原先生、恐れ入りますが、議事進行よろしくお願いいたします。

3. 議事

●報告事項 1：地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について・・・資料 1

○伊豆原座長

- ・ それでは議事を進めます。事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・ 資料説明

○伊豆原座長

- ・ 報告ありがとうございました。ご質問、ご意見いかがでしょうか。
- ・ 私は、評価委員のメンバーであり二次評価をさせていただきました。
- ・ 武豊町の活動については、高い評価をしています。住民の皆さんが積極的な活動をしていただいていることが、メンバーの高い評価につながっています。利用者も増えつつあります。
- ・ 試行から本格運行に展開し、地域の皆さんにとって良い仕組みだと感じていただけるようにすることが大切になります。
- ・ 地域公共交通総合連携計画は平成 26 年度をもって計画期間を終了しますので、今年度から来年に向けてアンケート調査など検討を進めていただくなかで、武豊町の状況を考えると、半田市との関係も切り離せない。周辺市とありますが、南北方向について少し連係を考えてはどうかということです。商業施設の利用などに対する意見もあるので、そうしたことをふまえて新しい地域公共交通総合連携計画を策定して欲しいというのが、この評価になります。
- ・ 計画のレベルアップに向けて皆さんのご協力を賜りたい。

○初山委員

- ・ 美浜町では無料のバスを行っていると聞いています。また、南知多町や半田市の状況はどうでしょうか。

○事務局

- ・ 半田市では知多乗合(株)が路線バス事業を実施し、市は運行の支援を行っており、コミュニティバス事業は行っていません。南知多町は、コミュニティバスを運行していません。

○伊豆原座長

- ・ 愛知県内でも行政界を超えた対応を進めている自治体が増えてきたと思います。例えば、南知多町、尾張旭市、みよし市などで、近隣の総合病院等への乗り入れを行って

います。

- ・ 半田市への商業施設への乗り入れなどは、当該協議会で協議し、事務局にて半田市と調整してもらうことになるだろうと思います。

○大岩委員

- ・ 乗合タクシーの状況はどうでしょうか。自宅から駅まで行けると聞きますが。

○事務局

- ・ 乗合タクシーの運行は、ドアトゥドアではなく停留所から停留所をつなぐものです。既存のタクシー事業とは役割が異なるため、停留所間を乗合にて運行します。
- ・ 利用実績ですが、これまでに1,000人を超えた利用で、月当たり50~60人程度の利用があります。

○伊豆原座長

- ・ 次の議題でも関係のある内容です。
- ・ この報告事項について、了解いただけますでしょうか。
- ・ ありがとうございます。特に意義等ございませんので、内容を確認いただいたとして、次の議事に移ります。

●報告事項2：現況分析・連携計画の実施状況について・・・・・・・・・・資料2～5

○伊豆原座長

- ・ 事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・ 資料説明

○伊豆原座長

- ・ ありがとうございます。調査の必要性や現在の利用状況について報告いただきました。ご意見、ご質問はありますか。

○小林委員

- ・ 資料3の7頁、乗合タクシーの利用者数は、全体では増加しているとの説明ですが、ルート数も増やしているため、これを利用者数が増加していると捉えてよいか。
- ・ 資料4の15頁以降で、コミュニティバスのバス停留所ごとに乗降者数を確認しているが、全便での利用状況で便別の状況については整理していない。便の配分を検討するという指摘があったので、そのためには便別利用状況について確認すべきではないか。

○事務局

- ・ 指摘の通りです。乗合タクシーはルートを拡大しており、便別にみると利用が伸びて

いない箇所があります。利用促進を図る必要があります。

- ・ コミュニティバスの便別の把握について指摘は、便別・時間別のデータがありますので、その点を確認したいと考えます。

○櫻場委員

- ・ 利用は伸びているということですが、武豊町でバスを利用して欲しいと思う人に比べ、実際に利用している人はまだ少ないと考えます。もっと利用者数を伸ばしていくべきだと思う。
- ・ 運行本数や運行時間などサービス水準を上げれば、もっと利用者は増えるはず。公共性、だれでも利用できるということですが、本当に利用して欲しいのは高齢者で、高齢者が利用できるように高齢者を中心にした対策を行っても良いのではないかと。
- ・ 8時から5時の間で一定の間隔で運行していますが、利用状況は時間的な変動があると思う。ある時間は利用が少ないはずなので運行しなくても良い。朝夕の時間帯は、定時定路線の運行で、それ以外はイベント用に使うとか、どこでもフリーに走行させるような形で使うといった目的を変えた検討をしてみてはどうか。

○事務局

- ・ ご意見ありがとうございます。正直、すべての人に満足いただけるようにするのは難しいと考えています。
- ・ 現状は、市街化区域・人口の集中しているところを中心にサービスを展開しています。ご指摘の点について、検討の余地があると思うので、アンケート調査等をふまえながら確認したいと思います。
- ・ なお、不定期、フリールートを考えて欲しいという指摘ですが、導入当初、定時定路線としたのは利用者の利便性を考えました。フリールートにすると、タクシー事業との競合の問題もあり難しいと考えています。

○初山町長

- ・ 職員には、昼間、各種会合を行う場合は、コミュニティバスのダイヤに合わせてできるだけ開催するように時間設定し、また、会合のプログラムには、コミュニティバスのダイヤを示すように指示しています。また、産業まつりには、コミュニティバス等を無料利用できるようにしています。
- ・ こうした昼間の時間帯の利用促進、使ったことのない人への利用促進について、創意工夫して対応しています。

○中川委員

- ・ 二次評価結果の対応として、半田市への乗り入れについて考えていただいていると思いますが、その前にやっていかなければいけないと思うことがあります。
- ・ JR武豊駅や名鉄知多武豊駅にはバス停留所が設置され、頻繁に運行されていますので、中心市街地・商店街にもバス停をつくったらどうかと思います。
- ・ 大型商業施設だけでなく、中心市街地・商店街なども利用していただくための対応も

重要だと思う。

○伊豆原座長

- ・ 住民の皆さんの行きたいところに停留所を設置する必要があります。例えば岡崎市では、地元の商店街を運行するコミュニティバス「まちバス」があります。商店街で買い物された人に、商店から「まちバス」の乗車券（チケット）を渡しているサービスを行っています。停留所を設置するだけでなく、商店街などもいっしょに連携できる方法を考えることが重要ではないか。
- ・ 気軽に移動できる仕組みを地域といっしょに創っていくことが重要です。武豊町では、事業をはじめて3年ですが、例えば、尾張旭市では利用が現在の状況になるまでに定着するのに5年程度かかっています。今後どういう仕組みをつくっていくか、商店街との連携をどうするか、大型商業施設との連携をどうするか、考えていくことが大切です。
- ・ 尾張旭市ではイトーヨーカ堂の玄関にバス停留所を設置させていただき、商業者側でコミュニティバスが到着することを店内放送してもらえるようになりました。こうした取り組みが大切です。

○櫻場委員

- ・ 利用促進友の会の次の企画・イベントについて紹介します。
- ・ コミュニティバスのモニターを募集しようと考えています。現状は、利用者が固定化されつつあるので、乗っていない人に乗ってもらうために、モニターを募集します。
- ・ 3カ月の期間の中で10回程度使ってもらい、どういう利用をしたか、要望意見をアンケートにて回答してもらい、100人くらいのモニター募集をがんばってみたいと考えています。

○伊豆原座長

- ・ 利用促進友の会の活動に期待したいと思います。

○初山町長

- ・ いっしょにご協力できる場所があれば、是非協力したい。

○藤田委員

- ・ 公共交通にタクシーを組み込んでもらうのはありがたいと思う。
- ・ 乗合タクシーについて、少し確認したい。何時ぐらいの利用が多いのか、ルートを5から9箇所を増やしているが、増やした基準について教えてほしい。

○事務局

- ・ 利用時間帯については資料を持ち合わせていない。
- ・ ルート設定については、コミュニティバスでカバーできていない市街化調整区域を中心に当初は設定しました。コミュニティバスの停留所から300mの範囲でカバーでき

ているか確認しており、追加部分については、市街化区域内でも住民から要望があがったところ、300mの範囲でカバーできていない空白地部分を埋めるために、乗合タクシーの停留所を導入しています。

○大岩委員

- ・ 廻間住宅前のバス停留所を設置した。近隣の県営住宅の人は大変喜んでいます。
- ・ 外出時の行きはうまくコミュニティバス使っていますが、帰りはダイヤがあわないのか迎えに来てもらう人があります。

○横山委員

- ・ 時間とお金の問題がありますが発言します。
- ・ ヤマダ電気ができました。交流センターの建設も行われています。転車台前の停留所の移設も含めて、施設利用ができるように考えてください。また、反対回りについて考えてもらえないか。

○靱山町長

- ・ ヤマダ電気や交流センターの建設あわせて、コミュニティバスが通れないか検討しています。
- ・ 今の状況がベストではないので、ルートは周辺の変化に応じて変えていきたい。

○伊豆原座長

- ・ 施設の整備に応じて、ルートは柔軟に考えるべきです。

○櫻場委員

- ・ 乗合タクシーについて、一度に複数の人の利用がありますか。乗合タクシーの乗降場所を決めるのではなく、個人の家の前までにしてもらえないか。
- ・ 一度に乗り合わせがされていないのであれば、個人の家の前まで来てもらえれば、利用者はもっと増えるのではないか。

○事務局

- ・ 利用状況としては、一人の利用が多く複数は一部です。
- ・ 自宅の前からそのまま行きたいという要望はわかりますが、ドアトゥドアは通常のタクシーのサービスで、既存のタクシー事業者との競合問題があり、難しいと考えます。

○山田委員

- ・ 乗合タクシーは、交通会議で合意して導入しています。自宅の前からドアトゥドアというのは究極のサービスで、本来、タクシーサービスとなります。
- ・ 公共性をもった乗合のサービスなのか、個人の都合に対応したサービスなのか、その区分けが重要です。
- ・ 武豊町における事業予算の執行についても影響するもので、自分の都合・時間で使う

のであれば、公共交通事業ではなく公共交通機関としてのタクシー利用に対して補助する仕組みで考えるべきです。分けて考えるべきもので、本来であれば、通常のタクシー事業を利用して欲しいと考えます。

○伊豆原座長

- ・ タクシーの活用についてですが、乗合タクシーの事業と通常のタクシーの制度は違います。
- ・ 乗合事業の予約によるデマンド型交通という仕組みで、運輸局からマニュアルがまとめられています。事務局で少し勉強してください。
- ・ 通常のタクシー事業は、コミュニティバスのような 100 円という運賃ではなく、ドアトゥドアを送迎するサービスに見合う料金制度になっています。バス停を設置して乗り合わせ、ルートを固定する時の料金設定とは異なります。
- ・ 利用者の利便性を考えないといけないが、法制度の中でどのように対応していくのか、こうした点が、地域公共交通総合連携計画の見直しを行う中で、整理すべきことだと考えます。来年度の策定に向けて議論していきましょう。

●第 1 号議案：町民アンケート調査（調査票）について・・・・・・・・・・資料 5

○伊豆原座長

- ・ 事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・ 資料説明

○伊豆原座長

- ・ ありがとうございます。ご質問ありますか。

○杉崎委員

- ・ 一度もコミュニティバスに乗ったことがない人が多く、利用者は固定化されている。利用している人は満足しているから利用しており、利用していない人は興味がない。アンケートは、利用しないとわからないのではないかと。一度乗ってもらって欲しい。それから意見をもらいたい。
- ・ モニターなどに力をいれるべきで、アンケートでよいか疑問に思う。

○事務局

- ・ 利用されていない人が多いのは理解しています。産業まつりなど、みんなが集まるイベントにおいて無料で利用できるように対応します。
- ・ コミュニティバスの事業開始時も無料期間を設定し、対応した。

○伊豆原座長

- ・ アンケートはなぜ実施するのか。町民の意見を聞くことだけでなく、コミュニティバス事業を実施していることを知ってもらう意味がある。みんなに利用してほしいから、アンケートをやる。意見を聞くだけでなく、知ってもらう手段でもあるわけです。
- ・ 利用できないのはなぜなのか、アンケート調査の協力をお願いではなく、町民にバスを考えてみてください、ということをお願いする。案内文書は、「バス事業をやっていますが知っていますか？ バスの施策を考えてください。」というようなタイトルがふさわしい。

○小林委員

- ・ アンケート調査について、メッセージとして使うことも重要です。
- ・ サービス内容を改善することを聞いている。知っていただきたいという情報発信と改善策を聞きたいという質問の整理を改善すべきではないか。
- ・ 財政問題の問5について、利用する人としらない人では回答が異なる。満足度も聞いているが、今までの評価は、高い満足度を得られていた。今回の結果を聞いて、満足度が低かったら事業内容を変えるのか。
- ・ 利用者数は増えており、人口も増えていくなかで、ルート別の利用者数が異なっている。もっと丁寧に情報発信しないと、短絡的に判断されてしまう危惧がある。

○事務局

- ・ 指摘を踏まえて修正したい。修正は、座長と調整して決めていきたい。

○伊豆原座長

- ・ アンケート調査は、公的資金の投入に対して住民がどうみているか。限られた財源で、どこまでやれるのか、事務局にはジレンマがあると思う。
- ・ 利用者数の実績が増加している実態も情報として示すと良い。そうした中で、公的負担をどうすべきか住民に考えてもらい、意見をもらう。

○初山委員

- ・ 自分が住んでいるところを考えると、乗合タクシーの停留所から離れている。停留所を増やしたらどうかという設問をわかるように追加して欲しい。そうすれば、意見がでてくるのではないか。

○事務局

- ・ 乗合タクシーの停留所は、単に増やすのではなく、位置を変えるという方法で考えた。

○愛知県

- ・ 他市町との連携について、移動の目的や行きたい所を聞いたらどうか。

○伊豆原座長

- ・ 問2-2の設問の中で、その点は配慮されている。

○古田委員

- ・ サービス水準について、利用されている人は満足度が高いだろう。
- ・ 利用者の拡大を考えるのなら、コミュニティバスを周知しながら、今後も維持するには利用してもらう、事業に協力してもらうことを示すべき。
- ・ 事務局の思いを伝えてほしい。

○事務局

- ・ 利用促進していただく思いが伝わるように考えたい。

○伊豆原座長

- ・ その他ご意見ありますか。
- ・ 指摘された点については、事務局と対応を考えさせていただく。
- ・ 対応するという条件付きですが、アンケート調査票について全員の承認をいただけますでしょうか。

<委員 異議なし>

○伊豆原座長

- ・ ありがとうございます。
- ・ 全員の了承をいただいたとして修正対応し、調査を進めたいと考えます。

●第2号議案：利用者アンケート調査(調査票)について・・・・・・・・・・資料6

○伊豆原座長

- ・ 事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・ 資料説明

○伊豆原座長

- ・ ご質問・ご意見ありませんか。

○小林委員

- ・ 配布枚数はどうなりますか。

○池田

- ・ 平日1日、土曜日1日、2台の車両に調査員が乗り合わせて、その時に利用された方に調査します。日によって変動がありますが、90から100人くらいの利用があります。すべての人が回答いただけるわけではないので、可能な方に協力いただきます。

○小林委員

- ・ 調査員がバスに乗るのであれば、ODのデータは確認できるのではないか。
- ・ アンケートの目的を明確にして、回答の負担を減らすべき。

○事務局

- ・ 基本は調査員が聞き取りますが、調査項目、記入方法について検討します。
- ・ その場で回答いただけない方もいますので、調査票をお渡しして回答いただき、輸送回収できるようにもしたいと思います。

○伊豆原座長

- ・ その他ご意見ありますか。
- ・ アンケート調査票について全員の承認をいただけますでしょうか。

<委員 異議なし>

○伊豆原座長

- ・ ありがとうございます。
- ・ 全員の了承をいただいたとして、指摘の点を対応し、調査を進めたいと考えます。

●第3号議案：武豊町地域公共交通総合連携計画の見直しについて・・・・・・・・資料8

○伊豆原座長

- ・ 事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・ 資料説明

○伊豆原座長

- ・ 何かご意見、ご質問ありますか。関係者への確認ですので、事業者さんよろしいですか。また、住民代表のみなさんよろしいですか。

<委員 異議なし>

○伊豆原座長

- ・ ありがとうございます。
- ・ 説明会などの対応をふくめて、ご協力をお願いします。

4. その他

○伊豆原座長

- ・ 事務局からその他報告をお願いします。

○事務局

- ・ 利用促進友の会の活動として、壱町田湿地までコミュニティバスに乗っていただき写生大会を行って頂きました。17名の参加です。写生大会の作品を9月30日まで庁舎ロビーに展示していますので、是非ご覧ください。
- ・ 今後のスケジュールですが、第14回の会議については、12月から1月頃に、アンケート調査やヒアリング調査結果から得られた課題を整理し、その課題について報告させていただきます。
- ・ 第15回の会議として、来年3月に、今年度調査結果から得られた課題に対する対応方針と、次年度の検討計画について協議する予定です。

5. 閉会

○初山会長

- ・ 本日は長時間にわたり、熱心なご議論ありがとうございました。本日の意見をふまえ、よりよい事業へと進めてまいりたいと思います。
- ・ 協議ありがとうございました。

○事務局

- ・ 以上で、「武豊町地域公共交通会議」の第13回会議を閉会させていただきます。